

平成26年度 第3回 硬組織疾患ゲノムセンターセミナー

硬組織疾患ゲノムセンターの連絡会議に併設して、内外の研究者をお招きしてご講演いただく「硬組織疾患ゲノムセンターセミナー」を開催しています。今年度第3回は、本学大学院医歯学総合研究科 分子発生学分野の武智正樹先生にご講演をお願いしております。ぜひご来聴下さい。

講師： 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子発生学分野
テニュアトラック助教 武智 正樹 先生

日時： 平成26年9月30日（火）18時00分～18時40分

場所： MDタワー23階 共用セミナー室2

演題： 顎と中耳の形態形成機構－先天異常から進化まで

内容： 哺乳類に見られる3つの耳小骨の一部は他の脊椎動物における顎要素に由来するため、顎と中耳の形態形成機構は密接に関係している。近年のマウスやゼブラフィッシュを用いた発生遺伝学より、**Endothelin1 (Edn1)** の誘導によって **Dlx** 遺伝子群が鰓弓の神経堤細胞に背腹軸に沿って入れ子状に発現し、上下顎の形態アイデンティティを決定することがわかってきた (**Dlx** コード)。本講演では、**Edn1** シグナリングカスケードによる形態形成機構を中心に、第1第2鰓弓症候群などの先天異常との関連や、マウスとニワトリの比較発生的解析から見えてきた哺乳類中耳の形態進化についても議論したい。

連絡先：硬組織疾患ゲノム構造解析部門（分子細胞遺伝） 林 深（内線 5821）